

平成19年度佐賀環境フォーラム実績報告書

1 実施体制

組織体制は、佐賀大学・学生スタッフ・市民・佐賀市で構成する実行委員会形式

2 受講状況等

(1) 受講要件

高校生以上

(2) 受講料 (年間：前期・後期 ※スポット受講は講義のみ)

- ◇ 一般 : 5,000円
- ◇ 学生 : 1,500円 ※佐賀大学生は無料
- ◇ 法人 : 5,000円(1口) ※1口で1人枠とし、誰が受講しても可
- ◇ スポット受講者 : 2講義につき 1,000円
- ◇ スポット受講者(学生) : 2講義につき 300円

(3) 受講申込み者数 ※[昨年度受講申込み者数]

- ◇ 一般 : 42名 [29名] ◇ 学生 : 1名 [0名] ◇ 法人 : 12社 [14社]
- ◇ スポット : 39名 [27名] ◇ スポット(学生) : 10名 [0名]
- ◇ 佐賀大学生 : 95名 [105名]

3 事業概要

■ 講義

- ◇ 平成19年5月8日(火)から平成19年7月12日(木)まで
- ◇ 午後7時から午後8時30分まで(※質疑応答：午後9時まで)
- ◇ 佐賀大学教養教育運営機構2号館211番教室
- ◇ 全12回

回	日程	講義内容	講師	受講者数			
				一般	佐大生	スタッフ	計
1	5月8日(火)	環境問題総論	佐賀大学 理工学部教授 宮島 徹	49	68	20	137
		ワークショップ研究成果発表	ワークショップ グループ代表				
2	5月10日(木)	佐賀のトンボは増えたのだろうか?	佐賀大学名誉教授 東 和敬	44	63	12	119
3	5月15日(火)	有明海湾奥部における干潟環境再生のための取組み 佐大低平地研究センターを中心として	佐賀大学低平地研究センター 副センター長 林 重徳	40	52	13	105
4	5月17日(木)	環境政策	環境省総合環境政策局 環境経済課長 鎌形 浩史	52	62	12	126
5	5月24日(木)	地球温暖化とグリーン購入	東京大学 生産技術研究所教授 山本 良一	59	50	16	125
6	5月31日(木)	循環型農業の技術と経済	佐賀大学 農学部准教授 辻 一成	40	52	14	106
7	6月7日(木)	佐賀から始まる日本の太陽光発電普及	NPO法人:太陽光発電所ネットワーク 専務理事・事務局長 都筑 建	42	50	14	106
8	6月14日(木)	IBM:企業での環境への取り組み	日本IBM アジアパシフィック環境統括本部長 小林 光男	39	52	14	105
9	6月21日(木)	～地球温暖化等環境問題の観点から～ 「エネルギー政策の現状と課題」(1)	九州大学大学院 工学研究院教授 出光 一哉	34	46	12	92
10	6月28日(木)	EA21学生委員の昨日、今日、明日	山口県立大学 山口県立大学 学生	39	48	14	101
11	7月5日(木)	～地球温暖化等環境問題の観点から～ 「エネルギー政策の現状と課題」(2)	佐賀大学理工学部教授 豊島 耕一	39	37	15	91
12	7月12日(木)	「知る」からはじめる野生動物保護	青年海外協力隊OB 獣医師 辻松 淳二	36	46	14	96

■ **現地見学会** ※ 表記について… (参加人数：一般・佐大生・スタッフ：計)

日時：平成19年6月30日(土)

内容：県内の現地見学・研修バスツアー。以下の2コースのうち1つを選択。

(参加人数：14名・46名・12名：計72名)

- (1) 佐賀大学海洋エネルギーセンター — 玄海原子力発電所

(参加人数：5名・35名・8名：計48名)

- (2) 檜原湿原 — 富士町植林地

(参加人数：9名・11名・4名：計24名)

※当初、(3) 中国木材株式会社 — 有明水産振興センター・干潟体験を予定していたが、中止とした。

■ **体験講座** ※ 表記について… (参加人数：一般・佐大生・スタッフ：計)

- (1) 水質調査 平成19年6月2日(土)

嘉瀬川2地点(富士町貝野川合流地点・石井樋水ものがたり館)で調査し、その結果について佐賀市清掃工場にて発表した。

(参加人数：11名・1名・13名：計25名)

- (2) ごみ探検隊 平成19年6月16日(土)

佐賀大学構内のごみ分別の現状について7班に分かれ、見学・考察し、その結果について発表した。

(参加人数：2名・49名・11名：計62名)

※ 環境に優しい農業体験(三気の会主催)

自由参加型として開催

■ **河川清掃**

佐賀大学本庄キャンパス構内および周辺の河川清掃に取り組んだ。

春と秋の2回、地元自治会や佐賀大学教職員と共に実施した。(参加人数：延べ246名)

- (1) 春の河川清掃 平成19年 4月15日(日)

(参加人数：130名 ※地元自治会・佐賀大学教職員・佐大生・佐賀市関係者含む)

- (2) 秋の河川清掃 平成19年10月21日(日)

(参加人数：116名 ※同上)

※清掃終了後に、佐賀大学生協にて懇親会を開催

■ **平成「打ち水」夏の陣2007**

広く打ち水の実施を呼びかけることにより、市民や事業所等に対して省エネをはじめ、環境に配慮する意識を向上してもらうきっかけとした。また、今年度は佐賀総体の開会式において実施し、広く「打ち水」のPRを行った。(参加人数：延べ460名)

【呼びかけ期間】 平成19年7月22日(日)～平成19年8月22日(水)

- (1) まちおん(エスプラッツ南側) 平成19年5月20日(日) (参加人数：30名[F:10名])
(2) 佐大プレ・イベント 平成19年7月12日(木) (参加人数：50名[F:20名])
(3) 佐賀総体総合開会式 平成19年7月28日(土) (参加人数：300名[F:50名])
(4) 佐賀城本丸歴史館：開館3周年 平成19年8月1日(水) (参加人数：60名[F:15名])
(5) 栄の国まつり：パレード 平成19年8月5日(日) (参加人数：20名[F:20名])

■ グループワークショップ

参加者がそれぞれの興味関心に沿ってグループに分かれ、各グループが研究テーマを決めて研究活動を行った。

(参加人数：一般31名[昨年度17名]、学生53名[〃44名]：計84名[〃61名])

(1) 研究テーマ

① 食と環境 【継続】

有機肥料や化学肥料の大量施用による野菜や水圏等への硝酸汚染問題について、栽培試験を通して検討した。

② 佐賀大学版EMS 【継続】

佐賀大学における環境問題について、学生として何が出来るか、学生に対して何が出来るかを基準として、今年度は佐賀大学におけるごみの分別や資源化の徹底を図るための方策を検討した。

③ シックスクール 【継続】

室内環境における化学物質の健康影響を考察するため、実際に佐賀市内の小中学校の室内空気を測定し、シックスクールの発生原因やその対策について検討した。また、研究結果から室内環境の現状とその対策について、佐賀市へ提言を行った。

④ エコツーリズム 【継続】

佐賀市域の自然を活かしたエコツアーの在り方について実地調査を踏まえ研究し、その魅力と可能性について提案した。

⑤ クリーク 【継続】

かつて行われていた「ごみくい」を復活させ、クリークの底泥を有機肥料として農業に利用することで、低エネルギーの循環型農業を提案した。

⑥ 水環境 【継続】

佐賀市内に張り巡る河川やクリーク等の水環境を改善することを目的として、様々な濾材を利用することで佐賀大学内河川や蓮池公園の水質浄化実験を実施した。

⑦ 地球環境 【新規】

身近な取組みから地球温暖化対策を考え、学生にも可能な温暖化対策を提言することを目的として、昔の人々の生活を参考とした省エネを提案した。

(2) 各種会議：相互連絡の強化を図るために、会議数を昨年度から増加した。

① 第1回全体会 平成19年 7月19日(木)

② 第2回全体会 平成19年10月18日(木)

③ 第1回リーダー会議 平成19年10月25日(木)

④ 中間報告会 平成19年11月17日(土)

⑤ 第2回リーダー会議 平成19年11月22日(木)

(3) 研究成果発表会

日時：平成20年1月26日(土)

出席者：計65名(WS参加者38名、一般15名、スタッフ12名)

■ 終講式

日時：平成20年1月26日(土)

修了者数：【一般】31名(43名中)、【法人】9社(12社中)

■ その他

- (1) 2007佐賀インターナショナルバルーンフェスタ
日時：平成19年10月31日（水）～平成19年11月4日（日）
※会場内に設置された佐大展において佐賀環境フォーラムのPRを行った。

- (2) 佐賀環境フォーラム・佐賀大学研究プロジェクト合同講演会
日時：平成20年2月9日（土）午後1時30分から午後5時40分
会場：佐賀大学理工学部6号館2階多目的セミナー室
※フォーラムからは、ワークショップグループの「シックスクール」、「エコツーリズム」、「クリーク」、「水環境」についての研究報告を行った。